出雲北陵月報

No. 399
平成30年11月30日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社　印刷

男子バスケット部 夏のインターハイに続き6年ぶりウインターカップ出場！

写真部 全国高総文祭出品決定！

男子バスケットボール部

島根県高等学校バスケットボール選手権大会兼ウインターカップ2018島根県予選会
時　11月2～4日
於　県立浜山公園体育館

2回戦　本校100－29大社
準々決勝　本校111－40浜田
準決勝　本校76－62開星
決勝　本校98－65松江西

6年ぶり9度目の優勝

○大会総評

インターハイから3ヶ月が過ぎ、再び全国大会出場を掛け、ウインターカップ2018島根県予選に出場した。

大会序盤は、本来の力を発揮することができない場面が多く見られたが、試合を重ねるごとに集中した本来の北陵バスケを展開することができた。決勝でも落ち着いたプレーで松江西高校を圧倒し、インターハイに続き全国大会の切符を手にすることができた。

インターハイでは緊張から本来の力を出せず1回戦で敗退したが、ウインターカップではチーム一丸となって、上位進出を目指し戦って行きたい。

最後になりましたが、保護者の皆様、OBやその他たくさんの方々から多くの声援をいただき誠に有難うございました。

（顧問　椿　英史）

写真部

第46回島根県高校写真展審査会

今年度は吾郷眞菜(2-2出雲)の作品「雨に唄う」が島根県上位第4席に入賞し、来年度佐賀県で行われる全国高校総合文化祭への出品資格を得た。これも陰ながら支えてくださっている方々のお蔭である。心より感謝している。受賞者は左記の通り。

【1・2年の部】
〈第4席〉「雨に唄う」　吾郷眞菜
〈奨励賞〉「ライバル」　吾郷眞菜
「恥ずかしがりや」　角田翔大(1-2斐西)
「参ります。」　北脇武恭(2-1斐東)
「初夏」　吾郷眞菜
「密会」　小川　穣(2-1出三)

（顧問　村上　学）

「雨に唄う」（3枚組作品）

吹奏楽部

第31回全日本マーチングコンテスト全国大会 銀賞受賞！

時　11月18日
於　大阪城ホール

5年連続7度目となる全国大会の出場となった。全国大会金賞を目指し、生徒たちは3年生を中心に最大限の努力をし、大会に臨んだ。

本番では島根県・中国支部代表として、凛とした姿で立派な演奏演技を披露することができ、会場から大きな拍手をいただいた。しかし、全国大会の壁は厚く、目標にはあと一歩届かず、銀賞という結果となった。目標としていた金賞には届かなかったが、新たな軌跡を残すことができたと感じている。

これまで支えていただいた保護者や卒業生の皆様、応援していただいた地域の方々に、この場を借りて感謝申しあげ、これからも変わらず日々精進していきたい。

（顧問　原田　実）

合唱部

第71回全日本合唱コンクール全国大会 高等学校部門Aグループ(32名以内)銅賞

時　10月27日
於　ホクト文化ホール

本年度は課題曲として、「まいまい」（「12のインヴェンション」から）を選んだ。この曲は富山県民謡「まいまい」に基づき、混声合唱のために1969年に作曲された、今年度の全日本合唱コンクールの課題曲の一つである。民謡本来のよさを取り入れつつ、各声部が独立した旋律を持っているため、互いに異なるリズム構成を聴きあいながら歌うことを大切にした。

自由曲は「立ちつくす～混声合唱とピアノのための～」を選曲した。この曲は、2011年の東日本大震災後に作曲された。詩の結びに語られる『世界が愛してくれますように』という大きな祈りのような言葉に向かって、音楽が展開していくよう工夫した。

結果は銅賞に終わってしまったが、この結果を真摯に受け止め、日々精進していきたいと思う。

全日本コンクール全国大会に進むことができたのも、これまで支えていただいた保護者や卒業生の方々、地域の皆様のお蔭だと思っています。心より感謝申しあげます。

（顧問　大菅　藍）

卓球部

第22回日本・韓国Jr.交流卓球大会
時　10月20～25日（韓国開催）
11月5～10日（日本開催）
於　浦項室内体育館（韓国開催）
岩国市総合体育館（日本開催）

【参加者】山本　歩（1-1北陵）
【大会結果】韓国開催　8勝10敗
日本開催　8勝7敗

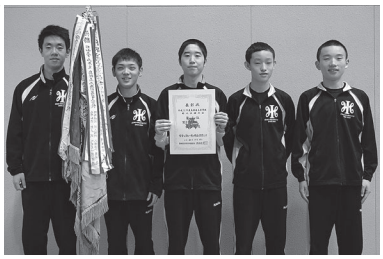
○大会総評
卓球部の山本歩が、17歳以下の日本代表として日韓交流大会に参加した。2002年日韓サッカーワールドカップ共催行事として始まった本大会に、今年度は日本から7名の高校生が参加した。韓国選手との対戦では勝ち越すことができなかったものの、自分に足りない技術や戦術を肌で感じることができ、大きな刺激を受けて帰国した。大会期間中には韓国選手団とともに現地の史跡等を見学し、韓国独自の文化や歴史に触れ、見識を深めることができたようである。今回の貴重な経験を生かし、将来的には日本を代表するような選手に成長することを願っている。
（顧問　古瀬泰之）

平成30年度島根県高等学校新人卓球大会
時　11月9～11日
於　鹿島総合体育館

〈男子団体〉
決勝リーグ
本校　3－0　松江北
本校　3－0　出雲西
本校　3－0　明誠
本校　3－0　出雲
本校　3－0　松徳学院
優勝（2年連続9回目）
※中国選抜出場権を獲得

〈男子シングルス〉
優勝　井上友希（2-3北陵）
2位　山本駿介（2-2北陵）
3位　武　凱（2-2霜州）・三村悠斗（1-2北陵）

○大会総評
団体戦、個人戦ともに優勝することができたが、全国大会で勝ち上がるためには、まだ技術の正確性や安定性が足りない。日々の練習で課題を克服していきたい。
（顧問　古瀬泰之）



なぎなた部

第45回中国なぎなた選手権大会
時　11月4日
於　広島市中区スポーツセンター

〈個人試合　高校の部〉
青戸真実（3-5松）　2位
〈個人試合　中学校の部〉
豊田詩月（中2今市）
川上友凪（中2長浜）　**優勝**

○大会総評
今大会は小学生から一般までの大会であった。中学生は上位入賞することができたが、高校生は優勝を逃し、今後の課題を見つけることができた。今後、より一層稽古に励みたい。（顧問　井上美代）

ソフトテニス部

平成30年度島根県高等学校ソフトテニス新人戦
時　10月26～28日
於　石見海浜公園テニスコート

〈団体戦〉
本校　③－0　松江高専
本校　②－0　隠岐島前
ベスト4リーグ
本校　1－②　出　雲
本校　②－1　横　田
本校　0－③　松江工業
第3位
※中国新人大会への出場権獲得

〈個人戦〉
3　位　今岡純也（2-4河南）・日野坪雄大（2-3出一）
ベスト8　吉岡丈瑠（2-4出一）・白築椋真（1-5河南）
ベスト16　安田　稜（1-5大社）・杉本啓佑（1-5邇摩）
〃　福島悠馬（2-2斐東）・矢田和真（2-4河南）
ベスト32　奥井寛太（1-5出南）・落合宵汰（2-3大社）
※5ペアが県高校インドア選手権への出場権獲得

サッカー部

平成30年度高校サッカー選手権大会
時　10月25日
於　出雲工業高校グランド

◎1回戦
本校　0［0－0
0－2］2　明誠高校

○大会総評
相手に対して一歩も引かず果敢に攻め、あと少しのところで得点できる場面をつくるなど、最後まで諦めずボールを追い続ける北陵サッカーを見せてくれた選手たちを誇りに思う。悔しい結果であったが、この雪辱を晴らすためにも新人戦に向け、チーム一丸となって頑張りたい。最後になりましたが保護者の皆様をはじめ、多くの方々のご声援をいただき、有難うございました。
（顧問　松井仁志）

テニス部

全国選抜高校テニス県予選
時　11月3・4日
於　浜田・益田

〈男子団体〉
2回戦　本校　⑤－0　松徳学院
3回戦　本校　③－1　益田翔陽
決勝R　本校　0－⑤　開　星
本校　1－④　松江北
本校　③－2　松江東
3位入賞！

〈女子団体〉
1回戦　本校　2－③　松徳学院
2回戦　本校　65－56　出雲商
準々決勝　本校　79－37　益田翔陽
準決勝　本校　45－80　松江商
第3位

○大会総評
準決勝の松江商業戦では、前半粘りのあるプレーをし、後半につなげることができた。しかし、後半は完全に足が止まってしまい、本校らしいプレーができず、悔しい敗戦となった。今後は新チームとなるが、この悔しさを忘れず、ひたむきに精進してもらいたい。最後に応援いただいた方々に感謝申しあげます。
（顧問　篠原勝利）

○大会総評
男子は、昨年の1回戦敗退から一年。新チームになり、『打倒　開星・松江北』を掲げて、生徒たちは良く頑張った。団体戦独特の応援にも力が入り、チームの一体感と成長を感じることができた。また、保護者の皆様には、遠方にもかかわらず、2日間にわたり、応援していただき有難うございました。厚くお礼申しあげます。
一方、女子は、1年生主体で臨み、初戦突破はならなかったが、団体戦の雰囲気を経験できたので今後に期待したい。
（顧問　石川剛亘）

女子バスケットボール部

島根県高等学校バスケットボール選手権大会
時　11月2～4日
於　カミアリーナ

2回戦　本校　65－56　出雲商
準々決勝　本校　79－37　益田翔陽
準決勝　本校　45－80　松江商
第3位

○大会総評
準決勝の松江商業戦では、前半粘りのあるプレーをし、後半につなげることができた。しかし、後半は完全に足が止まってしまい、本校らしいプレーができず、悔しい敗戦となった。今後は新チームとなるが、この悔しさを忘れず、ひたむきに精進してもらいたい。最後に応援いただいた方々に感謝申しあげます。
（顧問　篠原勝利）

美術部

出雲地区絵画コンクール

時　10月23日
於　出雲大社

出雲地区から12校、106名の美術部員が集まり、標記の絵画コンクールが行われた。あいにくの雨模様の中、参加者は真剣に油絵や水彩で風景写生に取り組み、良作がたくさん制作された。本校からは21名が入選、うち3名は優秀作品に選ばれた。

弦楽クラブ

ノヴィーコンサート

10月28日に松江城内にある島根県指定有形文化財「興雲閣」で開催されたノヴィーコンサートに出演した。水上の音楽よりアラ・ホーンパイプ（ヘンデル）と4つのヴァイオリンのための協奏曲より第1楽章（ヴィヴァルディ）の2曲を、100年前のチェコ製ピアノ、ノヴィーの伴奏に合わせて披露した。6人全員が本番を心から楽しみ、弦楽合奏の魅力をしっかり伝えられるような演奏ができたように思う。3年生にとっては最後のステージになったが、本番回数が少ない弦楽クラブにとって大変貴重な経験になった。

第24回出雲北陵高等学校 英語レシテーションコンテスト

時　11月3日
於　本校中高棟ホール

今年は小学生12名、中学生36名の参加があった。島根県立大学短期大学部名誉教授伊藤善啓先生をはじめ、5名の審査員の先生方に厳正な審査をしていただいたが、年々個々のレベルが上がっており、どの児童生徒も素晴らしい発表を行った。

3年連続の団体賞（出雲市長杯）受賞となる島根大学教育学部附属中の皆さん

＊団体賞（出雲市長杯）
島根大学教育学部附属中学校

＊個人賞

〈最優秀賞〉
小学校の部　ラング柚真（島大附小3年）
中学校の部　河島萌果（大田一中2年）

〈優秀賞〉
小学校の部　水谷駿斗（今市小4年）
中学校の部　平井秀生（向陽中3年）
　　大月高寛（北陵中3年）
　　藤原睦己（湖南中3年）

〈奨励賞〉
小学校の部　阿式　優（高松小6年）
　　景山由菜（湖陵小5年）
中学校の部　福山　陸（島大附中1年）
　　高野未來（島大附中2年）
　　大森夏子（木次中3年）
　　高橋幸佑（平田中2年）
　　荒木ひなの（島大附中2年）

小学校の部受賞者の皆さん

中学生の部受賞者の皆さん

改組 新 第5回日展

美術・CGデザインコース主任 飯塚康弘教諭 日展入選!!

時　11月2～25日
於　国立新美術館

全国から1万1千点以上の作品応募があり、その中から第二科（洋画）の部で飯塚教諭の作品「海辺の階段」が昨年に続き入選を果たした。

「海辺の階段」

避難訓練

10月30日（火）に地震を想定しての避難訓練を実施した。避難完了までの所要時間は今までで一番かかってしまったが、一連の流れを再確認できたと思う。当日は松江気象台から講師をご派遣いただき、全校生徒に向けて地震発生時の対処法などをスライドを見ながらご講演いただいた。

家庭科研究部

11月3日、イオンモール出雲主催の「出雲ぜんざいを使った新ご当地グルメコンクール」二次審査が行われ、今岡舞凪（2-4出）が出場し、最優秀賞に輝いた。この作品「AZUKI IMOタルト」は、イオンモール出雲の今井書店内のカフェAREAにて商品化されることが決定した。レシピの完成にあたって勉強になることも多く、貴重な経験となった。

吹奏楽部、合唱部 出演

新BS日本のうたの公開収録が11月22日（木）に出雲市民会館で行われ、本校吹奏楽部と合唱部が出演した。当日は八代亜紀、伍代夏子、千昌夫など、多くの歌手も出演し、生徒たちにとって貴重な体験となった。

放映日時は次のとおり。

○12月9日（日）
　午後7時30分～午後8時59分
　【BSプレミアム】
○12月15日（土）
　正午～午後1時29分
　【BSプレミアム】
○12月21日（金）
　午後4時30分～午後5時59分
　【BSプレミアム】

ぜひご覧ください。

中学校

インターアクトクラブ

高瀬川クリーン作戦

時　11月4日
於　出雲市内高瀬川流域

出雲南ロータリークラブが主催する「高瀬川クリーン作戦」があり、インターアクトクラブの生徒8名が参加した。

上流で川の水を止めて、足首くらいまで水位が下がったところで、川底清掃をした。空きビン・空き缶・乾電池などの小さなゴミから、壊れた傘・衣類といった大きなゴミまで、2～3キロほどの清掃区域の中で袋一杯に集まった。

毎年恒例の活動ということもあり、ゴミの量は徐々にではあるが少なくなってきている。

2時間ほどの活動だったが、終えた時は気分も清々しくなった。

第31回太陽の里まつり

時　11月3日
於　太陽の里

斐川町にある障がい者支援施設の太陽の里で「第31回太陽の里まつり」があり、インターアクトクラブの生徒7名がボランティアスタッフとして参加した。

このまつりは、毎年文化の日に開催されるもので、今年は施設内で栽培された草花の苗や加工品の味噌やソースの即売、飲食店の屋台、メインステージでは伊波野保育園児の遊戯や松江だんだんプロレスの興行、入所者の方々のよさこい踊りなどがあった。また、出西保育園やあい川保育園などの園児たちの作品展示もされていた。

本校生徒は即売所でお手伝いをしたが、多くの人で賑わい、大盛況であった。

卓球部

平成30年度全日本卓球選手権大会カデットの部

時　11月2～4日
於　仙台市体育館

〈U－14　男子シングルス〉
2回戦敗退　杉浦大和（中2西）
〈U－13　男子シングルス〉
ベスト32　佐藤卓斗（中1塩浜）

○大会総評

ランキング（ベスト8以上）入りを目指して臨んだが、全国の厚い壁に阻まれ、目標を達成することができなかった。技術・戦術・フィジカル・メンタルのすべての面を向上させ、全国大会で上位入賞できるように今後も精進していきたい。

（顧問　古瀬泰之）

第54回出雲地区中学校新人卓球大会

時　11月9日
於　斐川第一体育館

〈男子団体〉
優勝（5年連続8回目）
【メンバー】
杉浦大和（中2西）、藤村隼翔（中2朝来）
嘉本健太（中2高浜）、佐藤卓斗（中1塩浜）
西田有輝（中1米丸）、森口　諒（中1寒川）
〈男子シングルス〉
優勝　杉浦大和
2位　佐藤卓斗
3位　藤村隼翔

○大会総評

12月に開催される県大会への出場権を獲得した。県大会も優勝を目指して頑張りたい。

（顧問　古瀬泰之）

女子バスケットボール部

第63回出雲地区中学校新人バスケットボール大会

時　11月14・15日
於　県立浜山体育館

1回戦　本校　66－37　湖北中
2回戦　本校　54－29　河南中
準決勝　本校　73－60　松徳学院中
決勝　本校　47－64　松江一中
準優勝

○大会総評

ディフェンスから流れを作り、決勝戦まで勝ち進むことができた。決勝の松江一中戦では、得点力の差を感じた。今後は課題を整理し、優勝目指して練習に励みたい。

（顧問　三島圭一朗）

中学2年生　職場体験学習

11月6・7日に市内17事業所のご協力により職場体験学習を実施した。

この体験学習に向け、事前に事業所について調べることはもちろん、打ち合わせの日程や実習のお願いの連絡を自らするなど、しっかり準備をした。この体験の大きな目的は「働くこと」への理解である。二日間の体験を通して、将来の職業をイメージしたり、社会生活に必要なルールやマナーを学ぶことができたと思う。この経験を今後の学校生活にも生かして欲しい。また、各事業所様のご好意に心より感謝いたします。

中学1年生　ふるさと学習

『国宝松江城を中心としたふるさと島根の歴史巡り』と題し、11月6日にふるさと学習を実施した。この時間を迎えるにあたり、訪問先の設定等、グループごとに自分たちで計画を立てた。当日は、好天に恵まれ、紅葉掛かった木々をながめながら、生徒たちは松江市内の史跡などを訪れた。ふるさと島根の歴史について学習することができたことはもちろんだが、班別研修を通して、一人ひとりの役割や責任感も学ぶことができた。研修の成果は、来年2月にある総合的な学習の時間の発表会に披露することになるが、まずは今回の研修で経験したことを今後の生活に生かして欲しい。

第3回合同道徳

時　11月19日

今回は、水谷勲理事長先生より、「いかなる境遇にあっても柔しい情操と剛い意志をもって、家庭を明るくし社会に貢献できる心身ともに健全となる人になる。」という創立者の教えの観点から、相手の立場に立って相手の気持ちを誠実に受け止めることの大切さについてお話しいただいた。校訓「柔しく剛く」について、改めて考えることができた時間となった。

〈生徒感想〉

まず感じたことは、人によって態度を変えることはいけないこと。普段親しくない人でも、態度を変えないことが一つの礼儀として大切だということを学びました。あいさつも礼儀です。あいさつは人とコミュニケーションを取るための素晴らしいことです。形だけのあいさつではなくて、気持ちがこもっていないと意味がありません。また、人を思いやる気持ちも「してあげる」という気持ちではなく、相手の立場に立って相手の気持ちを誠実に受け取ることが大切だと学びました。

春日美津紀（中2澗陵）

オーストラリア語学研修旅行日記

中学生 3年生

11/4～11/12

☆リビングストン クリスチャン カレッジ前にて

☆サーファーズパラダイスにて

☆現地生徒との授業

☆カンガルーとの触れ合い

☆現地生徒との交流

☆ブリスベン市内を観光

☆発表の様子

☆バディの生徒と集合写真

オーストラリア語学研修旅行に参加して

私は今回が初めての海外だったのでとても緊張しました。忘れ物がないか、オーストラリアの人に意思をきちんと伝えることができるのかなど、色々な不安がありました。しかし、実際に行くと全然つらいこともなく、カルチャーショックもいい勉強になったと思います。研修の初日で色々な人が親切にしてくれたので安心しました。ホストファミリーも優しかったので、英語で話すことにも積極的に挑戦しました。

研修先の学校では、現地の生徒とバディになり授業へ参加しました。バディの生徒の友達がたくさん話しかけてくれて嬉しかったです。また、オーストラリアの勉強の仕方はパソコンを使うことが多く、日本と違うなと思いました。

私はこの語学研修旅行でたくさんの人と出会って、色々な人に支えてもらいました。オーストラリアには初対面の外国人(日本人)に親切にしてくれる優しい人がたくさんいて、私も逆の立場になったとき、そう思われるような人になりたいと思います。それから、オーストラリアの人と話して、私の課題はリスニングだということを知ることができました。もっと英語の勉強を頑張ろうと思いました。

上田　日向（中3-2 高松）

国際交流ひろばワークショップ

10月31日に、第22回国際交流ひろばワークショップを開催した。今年は、ロシア・カナダ・韓国・フィンランド・ブラジル出身の講師の方々をお迎えし、学級別に5班に分かれて活動をした。フィンランドとブラジルの2班は、それぞれの国で親しまれているお菓子を作り味わった。調理の合間に、先生の母国について質問するなど、会話も楽しみながら活動することができた。他の3班では、講師の先生の母国について、事前に観光地や食べ物、教育システム等を調べて発表した。それに対し先生からより詳しいお話をいただき、理解を深めた。活動の中で、その国特有の衣装や伝統工芸品に触れることができる貴重な時間があり、とても良い体験になった。

ブラジルのお菓子作り体験

カナダについて学習

作品と研究

国語表現の時間でエッセイに挑戦しました。テーマは「私が冬を感じる瞬間」です。「何に冬を感じるのか」「なぜ、そう感じるのか」に焦点を当てて、自分の感覚を言葉にして人に伝えられることを目標にしました。

私が冬を感じる瞬間は朝家から外に出た時だ。

冬の外の空気は澄み切っていて、とても冷たく、目をつむってしまうほどだ。それが嫌いだと言う人は少なくないだろう。しかし私は、その冷たさがとても好きなのだ。外の寒さを一切感じさせない暖房のきいた暖かい部屋から出た時に感じる、あの澄んでいる空気。「あぁ、冬だ。」とあらためて思う。部屋にばかり閉じこもっていては冬を忘れてしまう。だから私は外気にふれて冬だと実感するのだ。

冬を感じる瞬間は他にもある。

それは、自転車に乗っている時、たくさん感じることができる。自転車の金具の部分が凍りそうなほど冷たくなっているのに気づいたとき、こぎ出したときに吸い込む空気、こいでいる最中に顔や身体全体で受け止める風、ハンドルを握っている手がかじかんでしまい動かしにくくなっていることに気がついたとき、寒さで鼻や耳が赤くなっているとき、目的地に着いた頃には丁度良いくらいに温かくなっている身体。その一つひとつに冬を感じるのだ。

しかし、誰もが皆私の様に冬を感じるわけではない。ただ寒いなと思うだけで冬だと思う人はそうそういないだろう。そんな中、冬を意識して感じることができる私は、人よりちょっと冬を楽しめる気がするのだ。

加納海優（3-1 斐西）

CMで冬のテーマソングを聴いたときや、保湿クリームのCMなどを見たとき、「あ、冬だな」と思います。冬はとても好きです。少しずつ寒くなっていく感じが、夏の暑くなっていくのとは違って、とても心地良く感じます。冬の朝、寒くて布団にくるまっているあの時間がとても良くて。でも出ないと学校に行けないから、しぶしぶ出る。朝ごはんを食べ終わり、顔を洗う時、水がちょっと冷たくて、最初は「うっ」となる。けれど、洗った後の気持ち良さ。夏では感じられない、あのサッパリ感。私はとても好きです。

また、冬は夏とは違って、一年の締めくくりの季節でもあり、新しい一年のスタートの季節でもあります。私は今、高校三年生です。この冬は高校生活最後の冬であり、次に向かうための冬でもあります。この冬はとても大切で、仲の良い友達と過ごす最後の冬だと、今これを書きながら思っています。だから、たくさん思い出を作り、残り少ない高校生活を悔いのないものにしていきます。

矢田　萌（3-1 出三）

僕が冬を感じる瞬間はやはり初雪のときです。雪が降るだけでも冬を感じますが、初雪が降ったときはより強く冬を感じて無駄にテンションが上がります。雪が降る度に、積もってくれと小学生のように祈ります。僕は来年大学生になりますが、いまだに雪でテンションが上がっているので、もう少し落ち着いた方が良いのかもしれません。

さて、なぜ僕がここまで雪に魅力を感じるかと聞かれると、やはり、去年の豪雪の影響が大きいと思います。その日は、雪にタイヤをとられ、進めなくなる車が出るほどの豪雪で、歩くのもやっとのことでした。もちろん自転車では帰れないので、僕は車の迎えを待っていました。寒かったので温かい飲み物を買いにいこうと、二階の図書室横の外階段に出ました。すると、外階段は雪の影響で埋まり、完全に滑り台と化していました。滑る怖さから全神経を張りつめ、警戒しながら慎重に一歩目を踏み出しました。しかし、思いっきり滑りました。さながらジェットコースターのように滑り倒しました。途中の踊り場でも止まることなく更に加速し、一番下まで滑りました。ちょっぴり怖かったけれどとても楽しかったです。その後、三回は滑りました。今年も大雪が降ったら、そりを持ってこようと思います。

あのときの興奮と感動は一生忘れることは無いでしょう。

萬代　洵（3-1 出三）

今月の1枚

高文連出雲地区絵画コンクール優秀作品

「出雲大社」

福島　夕映（2-6 斐西）